

社協 だより 萩

Vol. 43

2012
4/1



ファミサポで応援 地域で支え合う子育て

ファミリー・サポート・センターは、子育ての援助を受けたい方と、援助ができる方による育児を助け合う相互援助（有償のボランティア）の会員組織です。

保育園や学校、児童クラブ、習い事、スポ少への送迎や預り、また、急な冠婚葬祭や子育てを離れて自分自身の時間を持ちたいときにも利用することができます。

気軽にご相談ください。地域の皆さんが応援してくれます。

身近なちいきで

ふつうにくらせるしあわせづくり

世帯の人数が少なくなり、単身世帯が増加、近隣住民同士の関係の希薄化が進み、公的サービスだけでは生活全体を支えることが難しくなっています。

互いの顔が見える範囲での地域の皆さんによる話し合い、ふれあい活動をはじめ、ボランティア活動、当事者団体の支援などの取組みを進めます。

●小地域福祉活動推進事業

普段の暮らしがよくなる小学校区程度の小地域に、地域の福祉活動を進める委員会を設置しています。小川、弥富、吉部、紫福、川上、明木、山田

を深める研修会の開催、広報紙の発行など、その小地域に必要とされる活動を進め、継続的に活動が展開できる体制づくりの検討が進められます。

●町内会などでの見守り・支え合い活動を応援

日常的な見守り・支え合い体制の充実を図るため、その問題について地域で解決方法を話し合ったり、具体的な活動を行う町内会などに対して、その経費の一部を補助します。

まず皆で集まって、自分たちの町内会のことや気がかりな方のことを考えてみましょう。

●脳の健康楽習会

地区では定期的な話し合いが重ねられ、最終3年目となります。サロン応援講座や見守りネットワークづくり、認知症への理解

簡単な読み書き・計算の学習が脳の健康を保つために効果があることは、脳トレでお馴染みの東北大学・川島隆太教授らの研究で明らかになっています。そこで、この教材を利用して

脳のトレーニング方法を習得するための脳の健康楽習会は、第2期生の募集を行います。

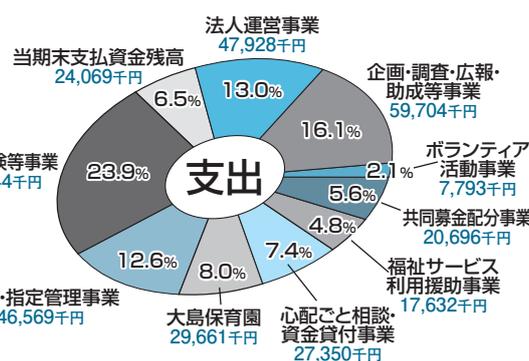
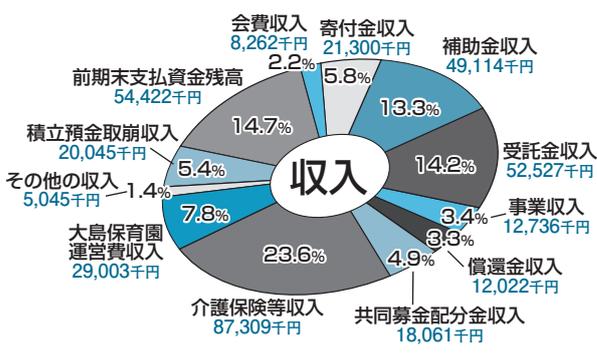
●認知症になっても安心して暮らせる町づくり事業

他人事ではなくなった認知症。認知症になっても安心して暮らせる町づくりのためには、何より一人でも多くの方が認知症に対して正しく理解することが必要です。今後関係機関と一緒に認知症サポーター養成講座を行います。

●地域福祉推進セミナー

高齢者の孤立、餓死、児童虐待、自殺などの様々な社会問題が発生する中、各地で関係者と一緒に自分たちの町を良くする活動が行われています。こうした事例を市民の方に広く紹介し、身近な地域での福祉活動の一助としていただくためのセミナーを開催します。

平成24年度予算概要



総額 369,846千円



広がる見守り・支え合い活動

最 近、一人暮らしだけでなく、若年の親子による孤独死（孤立死）や餓死などのニュースを新聞紙面などで目にするようになりました。

近 所に住んでいる方について、気がかりなことはありませんか。地域での見守り・支え合い活動には、「あれっ?」「おかしいな?」という小さな気づきがとても大切です。

2020年には全都道府県で一人暮らし世帯が最も多くなり、萩市の人口に占める高齢者の割合は42%との予測もあります。つまり、私たちの地域社会を支える人の多くは、一人暮らしや夫婦のみの高齢者という時代が近づいているということになります。

このたびのセミナーで、「発見に役立つサイン」を紹介しました。町内会など、地域での見守り活動などの参考としてご活用ください。

今回のセミナーで講師の高野先生（九州大学大学院人間環境学研究院）は、幅広い年齢層の方に、活動を見せ、伝えていくことが大切。町内会役員や民生委員、子ども会、社協など、たくさんの方とつながりを作ってほしいと助言されました。

そして、発見したら、まず民生委員や福祉員、町内会関係者などと相談しましょう。

今回のセミナーで講師の高野先生（九州大学大学院人間環境学研究院）は、幅広い年齢層の方に、活動を見せ、伝えていくことが大切。町内会役員や民生委員、子ども会、社協など、たくさんの方とつながりを作ってほしいと助言されました。

このたびのセミナーで、「発見に役立つサイン」を紹介しました。町内会など、地域での見守り活動などの参考としてご活用ください。

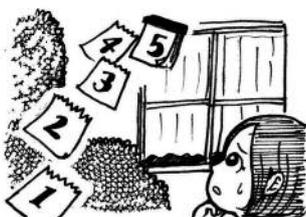
- 事例から学んだ主なポイント
- ・町内会に福祉部を設置するなど、多くの方の福祉活動への理解と参加を得る。
- ・活動者の特技を活かし、活動内容を工夫して楽しく負担なく行う。
- ・互いに顔が見える関係性を大切にします。
- ・気になること（気づき）を伝え、解決する仕組みが、身近にある。



新聞、郵便がたまっている



この頃、顔を見なくなった



カーテンが何日も開かない



ごみ出しがされていない



地域の福祉 あれこれ

2/2

昔遊びで交流

川上小学校3、4年生と老人クラブの皆さんとが「ふれあい教室」で交流しました。
老人クラブの方々からは、ご自身の小学校時代の話や当時の暮らしぶり、現在も行われている地域の伝統行事のことなど、興味深く聞くことができました。また、懐かしい「けん玉」や「ごま回し」などの昔遊びを一緒に楽しみました。
核家族化が進み、出会うことが少なくなっていますので、異世代が交流できる機会として、貴重な時間となりました。



川上

3/12

脳の健康楽習会 修了式

認知症になりたくない。ならないために、どんなことをしたら良いのか。そんな声から、身体の健康体操と同じように脳のトレーニング方法を習い、習慣にするための認知症予防教室を昨年から行っています。
3月12日、6ヶ月間を終えた第1期生の修了式を行いました。会を通して新しく知り合った参加者同士、またサポーターの皆さんと和やかな懇談となりました。
地域のサロンや老人クラブの集まりで皆とやってみたいなど、卒業生がリーダーとなり、身近な地域に輪が広がっていくことが期待できそうです。



萩

2/24

ジュースで健康づくり

ボランティアグループ11団体とサロン世話人で、「ボランティアリーダー研修会」を行いました。
野菜ソムリエの榎屋幸子さんを講師に招き、新鮮で栄養のある野菜のとり方を学んだ後、並べられた食材から野菜と果物を選びました。
組み合わせによって苦味成分と甘み成分とがあることが分かり、栄養のある飲みやすいジュースにするために悪戦苦闘しましたが、榎屋さんのアドバイスで美味しいフレッシュジュースとなりました。



田万川

3/14

地域のつながりを大切に

ご近所による見守りや声かけ、地域の支え合い活動を通じたつながりづくりを進めようと、「見守り支え合い活動推進セミナー」を開催しました。
元気で生き生きと活動しておられる方の事例発表に刺激を受け、集まった民生委員、福祉員、サロン世話人、老人クラブ会員などで地域の課題や自分たちができることを話し合いました。
主催した紫福地域福祉活動推進委員会では、参加者から出された意見をもとに、地域の皆さんの主体的な取組みを後押しされるようです。



紫福

私たち子育てを応援しています。

子どもは地域の宝です。さまざまな場面での子育て支援活動。子どもの笑顔が一番という皆さんです。

伸びていく子どもの姿

三浦 ^{まひで}真秀さん
(旭・佐々並市／54歳)



スポーツ少年団では団体から個人競技へと移行せざるを得なくなった時期がありました。その時にPTAだったことがきっかけで、バドミントンの指導を始めました。

子どもたちは、自らの力で考えて行動し、伸びる力を持っています。上の学年は下の子の面倒をみて、下の子は上の学年のようになりたいと思う。そんな中で伸びていく姿に接していけることをうれしく思います。「勝つ指導はしない、結果は後でついてくる」をモットーに週3回の練習を重ね、今年で11年目を迎えます。近年、全国大会へ出場することができたのも、佐々並の子どもたちが代々引き継いできた伝統と努力の賜物です。

今日まで活動を続けてこられたのは、家族の理解と協力、そして何より支えてくださる保護者、地域の皆さんのおかげだと感謝しています。

子育ての見守り

田中 ^{ゆくこ}征子さん
(むつみ・千石台／68歳)



この数年間で子どもがとも少なくなり、幼稚園が保育園となり、保護者が働かないと預かってもらえません。それは働く親たちの味方になる一方で、子育ては人任せ、子どもの心は後まわしの社会情勢となったのでしょうか。

親という字は、高い木の上に立って見守るという意味だと習いました。また、時間を作り、子どもと一緒に何かをする姿は、周りから見ても気持ちが良いものです。核家族が多い今こそ、子どもをお祖父ちゃんお祖母ちゃんの所に連れて行き、優しい言葉かけや、大切にすることを伝えることは、とても大切だと思っています。

しかし、現代は忙しい世の中です。そんなことを時に思いながら、地域のおばあちゃんとして月2回、放課後子ども教室のお手伝いをしています。

芝居の楽しさ

岩本 眞知子さん
(須佐・弥富13区／59歳)



2005年に主人の実家のある弥富に移り住んで7年目になります。東京の劇団で芝居をし、今も某プロダクションの演技指導の仕事をしています。弥富小学校の授業「表現タイム」をはじめ、柚野木小や阿武中、その他の小・中学校からも声が掛ければ出かけて行きます。

演技指導、群読、踊りの振り付け、発声練習等々、いろんな方々との出逢いの時間は実に楽しく面白くて刺激的です。とりわけ弥富小学校では、夢プロジェクトへの参加を含め、毎年いろんな舞台を子どもたちと一緒に創ってきています。子どもたちが大きな声で元気よく、人前でも物怖じせず堂々と自分の言葉で話すことができるよう、日々頑張っています。

私も助けてもらいました

谷口 ひとみさん
(萩・平安古西区の1／45歳)



何かと不安の多い育児中、子育てサークル「赤ちゃんリズム」のことを知り、同じ立場のお母さんたちと出会えて、元気をもらいました。子育ての先輩からアドバイスをいただくこともでき、一人で悩んでいた育児の不安が、少しずつ解消されていきました。赤ちゃんリズムは、萩市立児童館で月2回日曜日（不定期）午前10時から開催されています。児童館などに置いてあるチラシを参考に、ぜひご参加ください。

私は、この赤ちゃんリズムとの出会いをきっかけに、子育て中にたくさんの人とつながることの大切さを実感しました。それ以降、親子リズムや地域の母親クラブなどに関わっています。

これからも、地域の皆さんや子育てを応援する仲間と一緒に、萩で子育てをするお母さんたちが楽しく輝けるようなお手伝いができたらいいなと思っています。

善意銀行

ありがとうございます

香典返し・玉串料返し・花料返し

本人の承認を得たもののみを掲載しています。
指定寄付は、掲載していません。

※平成24年1月1日～2月29日受付分（敬称略）

氏名	住所	備考	金額
萩			
佐伯 靖	大島寺山	父/虎吉	金一封
渡邊 誠	川島1区の2	母/静江	金一封
岩本 俊英	大屋の2	妻/京子	金一封
埜 秀樹	山田1区	父/一夫	金一封
大田 綾子	後小畑の2	夫/榮	金一封
小原 一太	西田町の2	父/種助	金一封
柿元 奉子	川島3区の2	母/フヂエ	金一封
中野 正一	相島上	父/与之一	金一封
久継 宏士	城東南区の1	母/京子	金一封
泉 和子	前小畑2区の2	父/孝男	金一封
大嶋 昇	新川東の2	義母/田村アサコ	金一封
高杉 敏正	沖原	妻/澄子	金一封
柴田 充彬	東京都品川区	祖母/タマコ	金一封
小田 広之	大井馬場上	妻/喜久子	金一封
熊谷 博一	上野の1	妻/みどり	金一封
三好 正樹	平安古東区の2	父/繁夫	金一封
荒川由美子	堀内2区の1	母/信子	金一封
森永 一伸	三見明石	父/豊	金一封
寺田 稔子	無田ヶ原の1	夫/徳一	金一封
森川 洋子	三見河内	父/健二	金一封
能美 国郎	上野の1	妻/洋子	金一封
小坂 和男	東田町西区の1	母/カメ	金一封
乙丸 和良	浜崎2区の1	母/ミチヨ	金一封
福井 美子	江向3区の2	夫/康夫	金一封
金子 真之	平安古東区の3	母/百合江	金一封
宗楽 正晴	霧口	母/貞子	金一封
出羽 啓司	大井市場	父/十郎	金一封
松田 明美	越ヶ浜1区の1	母/笑美子	金一封
富山 涼子	無田ヶ原口の2	夫/保富	金一封
堀 久枝	沖原	夫/友太郎	金一封
横山みすぎ	平安古東区の2	夫/貞次	金一封
角屋 俊之	新川南の3	母/美穂子	金一封
福岡 恵子	今古萩町の1	母/齊藤富美子	金一封
鈴木 朝春	椎原の2	妻/玉代	金一封
中村 利貞	平安古東区の1	父/太郎	金一封
堀 雅博・シゲ子	三見明石	保弘	金一封
三戸 登	川島3区の2	父/吉政	金一封
佐竹 和子	堀内1区の3	夫/基忠	金一封
山口屋啓子	熊谷町の2	夫/英夫	金一封
西村きみえ	相島下	父/千一	金一封
岡 美代子	後小畑の2	夫/昭司	金一封
片山 幸枝	大井馬場下	夫/晋策	金一封
松浦 清美	中小畑の4	母/信枝	金一封
山口屋泰孝	米屋町の1	父/義一	金一封
金谷 輝一	大井浦中	父/豊	金一封

氏名	住所	備考	金額
藤田 正昭	越ヶ浜1区の2	祖母/ヒサコ	金一封
村木 勇	玉江2区の1	弟/繁	100,000円
満田 武	江向4区の2	父/武夫	金一封
横田 憲典	三見河内	妻/里美	金一封
池田 雅弘	平安古西区の2	父/謙一	金一封
宮本隆太郎	堀内2区の2	母/花枝	金一封
佐々木テルコ	沖原	夫/元義	金一封
山根 克紀	平安古西区の2	父/末廣	金一封
福永伸太郎	見島9区	父/義太	金一封
池部 和男	大島猪之坂	父/惣一	金一封
竹中 清司	大島猪之坂	父/義人	金一封
田中 克己	大島赤穂瀬先	母/フミ子	金一封
北国ひとし	見島11区	母/光枝	金一封
河田 利介	見島3区	妻/絹代	金一封
大賀 晶夫	見島1区	父/茂	金一封
加藤 浩昭	防府市清水町	父/健助	金一封

田万川

花岡 満	戎二	母/亀代	金一封
山本 一弘	稗田	母/澄子	金一封
規家 義文	北九州市八幡4区	父/安雄	金一封
田中 弘之	小川21区	父/芳夫	金一封
村野 忠男	神奈川県鎌倉市	父/正敏	金一封
炭屋 久夫	小川14区	父/巳義	金一封
山本 貞一	小川9区	父/久登	金一封
氏川 道明	小川22区	母/フサ	金一封
田中カズエ	上中町	夫/陽吉	金一封
椋木 一夫	小川14区	妻/ハマヨ	金一封
上杉 重男	小川7区	母/ハツエ	金一封
山本 勝義	山口市小郡	母/梅代	金一封
戎本 勝俊	湊	祖父/護	金一封
堀野 義雄	上本町	母/智子	200,000円
伊藤 勝夫	小川12区	母/節子	金一封
山本 和枝	八幡	夫/春美	金一封

むつみ

山根 登	小国	父/捨熊	金一封
藤田 明洋	山口市阿東生雲西分	義弟/永見安正	金一封
塩屋 讓	市下	母/タマヨ	金一封
中村 善充	尾の坂	母/モミヨ	金一封
矢次 史明	吉田町	母/テル子	金一封
竹重 倅典	志和田	母/ヤス子	金一封
田原 正人	羽月	父/美正	金一封

須佐

清水 正子	中津	夫/基巨	金一封
下瀬 俊夫	浦中	母/美佐子	金一封
川嶋 敏子	入江	夫/勇	金一封
品川 和司	上三原	父/重延	金一封

氏名	住所	備考	金額
山本 光一	前地	祖母／ヨシ子	金一封
伊藤 正弘	堀田	父／寛	金一封
大谷 信弘	浦西	父／英祐	金一封
森田 充夫	北谷	母／ユキ子	金一封
柴田 安則	山根丁東	母／久代	金一封
平野 誠	水海	妻／君子	金一封
新潟 重男	浦東	妻／くにえ	金一封
旭			
山田農夫雄	久年	母／亀代	金一封
竹本 博	大下	母／ミヤ子	金一封
山根 富嘉	黒ヶ谷	父／義一	金一封

氏名	住所	備考	金額
田中 武司	小野山	祖母／鶴子	金一封
大森 初枝	角力場	母／末永タケノ	金一封
元原 国弘	笛吹	妻／明子	金一封
竹内 俊作	下市	母／マサ	金一封
福 栄			
阿武 敏男	西宗	父／祥佑	金一封
村木 光江	東宗	夫／正春	金一封
原 幸隆	横貝	母／ヨシ子	金一封
常永 久雄	紫福平原	父／千代貞	金一封
福本 武志	西宗	父／昇	金一封

一般寄付

氏名	住所	備考	金額
萩			
(株)明乳松浦	濁測	交通遺児へ	15,115円
匿名			10,000円
川 上			
(有)アイフィット山口	山口市平井	一膳寄附	10,000円
田 万 川			
匿名			2,000円

物品寄付

物品名	氏名	住所
萩		
車いす2台	江向3区町内会	
紙おむつ	匿名	
旭		
おむつ	横山ヒロ子	蔵屋
福 栄		
書き損じハガキ65枚	匿名	
書き損じハガキ36枚	伊藤 富江	吉田

(香典返し・一般寄付合計 127件4,532,979円、内指定寄付 36件713,000円)

前号7ページに、次のとおり誤りがありましたので、お詫び申し上げ、訂正いたします。

(正) 寄付者 吉田隆様 火事、見舞返し (誤) 見舞返し

善意銀行は、地域福祉活動推進の貴重な財源となっています。どうかご協力ください。

指定寄付の取り扱いについて

萩市善意銀行では、4月1日から指定寄付を取り扱いませんので、ご理解とご協力をお願いします。

※本会が税額控除対象法人となりましたので、善意銀行への寄付については、税額控除制度か所得控除制度により、控除が受けられます。

ボランティアの安心をサポート

【ボランティア活動保険】

自発的な意思による無償のボランティア活動が対象です。ボランティア活動中の様々な事故によるケガや損害賠償責任を補償します。

●補償期間 加入手続き翌日～平成25年3月31日

●掛 金 基本タイプ 1名あたり280円より

【ボランティア行幸用保険】

地域福祉活動やボランティア行事において、参加者のケガなど万一の事故に備えご活用ください。

●掛 金 1名あたり28円(最低掛金20名分)より

●問 合 せ 萩市社会福祉協議会本所・各事務所

手をつなぐ育成会「交流会」in 萩

陽 信孝さんの介護経験から、家族のあり方や支え方について考えます。

●日 時 4月22日(日) 13:00～15:30

●場 所 萩市総合福祉センター 集会室

●対象者 障がいのある方のご家族・保護者、障がい者の支援に関心のある方

●講 演 「今、想うこと」
講師：陽 信孝さん

●交流会 育成会ってどんな活動しているの？

●問 合 せ 萩市社会福祉協議会本所

編 集 室

孤立死や餓死、認知症、またIT機器を活用しての見守り、地域のつながり「絆」の大切さなどが叫ばれています。地域で起きていることや地域のあり方を考えて知恵を出し合い、具体的な取組みを進めることが必要かもしれません。それが、もっと住みやすい地域づくりにつながるのではないのでしょうか。(た)



わすらわしく思う人も
中にはいるかもしれない。
それでも、声をかけてほしい。
多くの人は、快く思ってくれる
はずだから。



小さな優しさが大きな支え

萩・阿武視力障害者福祉会 会長 河村 征助せいすけ

以前に比べると、障がい者、目の不自由な方にとって、生活しやすい社会になりました。情報を手に入れる方法や交通機関などで、配慮されることも増えました。しかし、声かけや手助けを必要としている人はいます。

私たちの会は、会員同士の助け合

い、交流を大切にしています。また、生活面での相談に応じ、福祉の向上を図っています。会が発足した頃に25歳で入会し、会長を仰せつかった30年余りになります。会員相互の親睦と社会参加を大切にするため、集える機会を多くつくり、お互い参加を呼びかけ合って情報交換や悩みを話し合えるように努めています。

年2回の総会、長門・山口・萩の3地区合同での研修会、ふれあいピクリンピック、市長を囲む会、福祉施設へのボランティア訪問（マッサージ）などがあります。3地区の研修会では、萩焼づくり、重源の郷金子みすゞ記念館など、なるべく社会体験ができる機会を設けています。萩市内にも、一人で行動できない

いから「何でも自分で少しはできるから」と、外出や交流を控える障がいの方は、多くいらっしゃると思います。最近は、ガイドヘルパーというサービスもあり、外出しやすくなっています。私たちの会にもご関心があれば、ぜひお気軽にお問い合わせください。

目の不自由な方は、萩市に200人以上、山口県内には7000人以上がおられるようです。目の不自由な方が買物に出かけたとき、お店の方々から、ほんの少しの親切なひと言、ほんの少しの丁寧な案内があれば、それは私たちにとってとても大きな支えになります。将来、皆さんの協力のもとに、そんな助け合いのしくみができればと考えています。障がいには、外見からでは分かりにくい場合もあるので、例えば胸にリボンをつけることで、買物にサポートが必要なサインにするなどです。少しの支えに大きな意味があります。私たちの暮らすまちが、障がい者、だれにとっても優しいまちになることを願っています。

身近な地域の福祉活動
Report
地域密着